

経営後継者研修だより

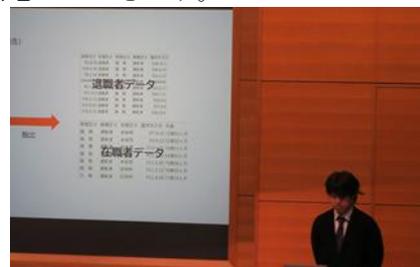
ピークなんて通過点！ ～歴代で最高の期に～

第4回『自社人的資源管理分析』発表会 - 会社の現在と未来 -

第4回目となる自社分析。テーマは「人的資源管理」です。この自社分析のねらいは、『人に関する分析を行う。意識調査や変遷、人事諸制度を理解して、現状と課題を把握する。』にあります。

人的資本経営は一見自分達には関係ないようなことかもしれませんが、グローバルな事業展開や、より高みを目指す企業にとっては必要であり重要な考え方です。今回は、「人的資本経営の考え方」を一部取り入れながら、「自社人的資源管理分析」を実施していきました。人的資本経営の前提として、「自社のありたい姿（将来ビジョン）」も大きく関係してくるため、会社の現在をいろんな角度から診ることから分析はスタートします。その上で、「自社のありたい^{あす}未来の姿」を考え、「強み」と「改善点」を洗い出して課題を特定し、対策を考えていくことに取り組むと同時に、人事・組織の観点から、経営者が目指す企業像（理想像）が、どのような具体施策として反映され、組織に実装されているのかを現状把握・分析。そして、その結果を踏まえ、今後必要となる施策や仕組みを構想していきます。

また、今後の自社分析においては、理想の企業像に近づくために、現状の施策を理解・尊重しつつ、実情に即した補完的かつ効果的な施策の検討にも取り組みます。その一方で、今回の分析は今の自社の組織に対する批判になりがちなことも否めません。そうではなく、具体案を検討する際には、目的と成果目標を明確にしたうえで、重要度×緊急度（優先順位）期限、費用対効果、そして組織の成熟度（提案する仕組みへの理解・受容度）を常に考えながら分析に取り組むのですが、多くの研修生が悪戦苦闘した様子。ただ、そこに屈せず、46期生が励まし合って、しっかりと取り組めた様子が当日の発表から伝わってきました。仲間の大切さをあらためて思い知ることのできた今回の分析にもなりました。



「自社人的資源管理分析」発表者の様子



研修生による「自社人的資源管理分析」コメントの様子

自社分析発表（自社人的資源管理分析）

人的資本経営の分析では、会社で人員動態を数字で追えていない点が一番の課題でした。在籍名簿はあっても、年間の入職・退職や増減が見えず、分析自体をしていないのが実態でした。研修の講義を受け、限られた日程の中で管理ソフトからデータを抽出し、動態を整理して可視化しました。土台の数字がそろったことで「採用は何人必要か」を具体化でき、目標値を置く話し合いが社長とできるようになりました。

研修後は、高齢者を大切にする風土を守りつつ人員拡大と売上向上を図り、今後の外部環境変化にも対応していけるようになっていきます。（根本 武）

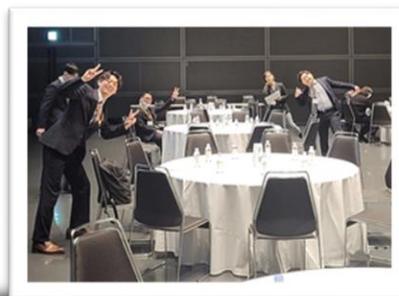
経営後継者研修 在校生・卒業生合同研修会 開催

2月13日（金）には、経営活動の参考となる経営者・後継者としての考え方を身につけるとともに、期を超えたネットワークの構築を目的とした「在校生・卒業生合同研修会」を東京国際フォーラムにて開催しました。毎年この時期に開催している在校生・卒業生が一堂に会する合同研修会ですが、今年は在校生を含め総勢110名を超える皆さんにご参加いただき、二部構成で開催しました。

第Ⅰ部では基調講演として、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 研究センター長片桐恭弘氏をお招きして『「AIと共に歩む ～社会実装による変革と共存の未来～」』のテーマでご講演いただきました。

第Ⅱ部では「卒業生から学ぶ経営の現場と後継者のあり方」と題し、「経営者の役割とマインド」・「第二創業（新規事業・経営革新等）」・「人材、組織・労務関連」の3つのテーマにグループ分けを行い、各班、在校生と卒業生でグループディスカッションを行いました。46年の歴史を誇る経営後継者研修。

その伝統とともにOB/OGの皆さんとのネットワークが今日に至るまで紡ぎ、次代に活かされている。そんな暖かくも良い緊張感に包まれた中で合同研修会となりました。



「在校生・卒業生合同研修会」

第46期経営後継者研修の在校生・卒業生合同研修会に参加し、「第二創業」をテーマに多くの学びを得ました。OBの中で実際に第二創業を実践された先輩のお話が特に印象に残っています。本業を愚直に続ける中で新たなご縁が生まれ、既存事業から異分野事業へ展開された貴重な経験を聞くことができました。さらに「変化についていけない人は生き残れない」という言葉が胸に残り、本業を守るだけでなく、環境変化に応じて挑戦する姿勢の必要性を実感しました。世代を超えた率直な意見交換を通じ、自社の可能性を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。今後は仮説と検証を重ねながら、自社にとっての最適な方向性を探っていきます。（井内 亮介）

研修がスタートして5カ月がたちます…

昨年10月1日に開講した第46期経営後継者研修も折り返し地点の2月が過ぎ去りました。過ぎてみればあっという間。それでもこれまでの一瞬一瞬は、研修生にとっては経営者になるための礎を築く大事な時間であると同時に、唯一無二の仲間達との「絆」を育む大切な時であるように思います。折り返しを過ぎた今、あらためて、開講時に打ち立てた目標に立ち返ることも必要なのかもしれません。

本研修は様々な講師にご登壇いただきますが、多くの講師が共通してお話されるのは「目的」の重要性です。目的を明確に設定することで、いま何をやらなければいけないか・どのような姿勢で取り組まなければいけないかが自ずと見えてくるかと思えます。そして、終講のタイミングで全員が研修受講の目的を達成できたと思えた時、46期が「歴代で最高の期」になったと言えるのではないのでしょうか。残り半分、走り切るのを目的とするのではなく、何のために研修を受講しているのか今一度振り返っていただき、悔いが残らないように日々目的意識を持って取り組んでいきましょう！（中小企業大学校東京校 企業研修課 経営後継者研修事務局 高田 脩平）

◆ 第 47 期経営後継者研修 受講申込を受付中です！

東京校では、2026 年 10 月 1 日（木）開講、第 47 期生の申込を受け付けています。
定員になり次第、募集を締め切ります。

ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込み・お問い合わせください。

[経営後継者研修（東京校）](#)

**◆ 経営後継者研修の資料請求・お問い合わせについて**

研修の詳しい資料を送付いたしますので、希望される方は、以下のフォームから申請してください。

また、研修や施設をご見学いただけます。（事前予約必要）

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

[経営後継者研修 資料請求・お問い合わせ](#)

**◆ 経営後継者研修 特別体験プログラム 参加申込を受付中です！**

「経営後継者研修」は本来 10 ヶ月全日制のプログラムですが、「いきなり長期はハードルが高い」
「内容を知りたい」そんな声にお応えし、2 日間の特別体験プログラムをご用意いたしました。

自社分析や専門研究を指導する 4 名のゼミナール講師がファシリテーターとなりワークショップを開催。さらに、卒業生が「自分と会社の未来」についてリアルな話をさせていただきます。初日には交流会もあり、他社後継者の取り組みを知るチャンスです。

[経営後継者研修 特別体験プログラム](#)

